

令和6年度 委員会活動について

保健師職能委員長 小島 由美子
(加茂市役所)

保健師職能委員会県央支部の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

保健師職能委員会は、「研修会」「職能だより」「交流会」を主な活動として行っております。

昨年度の研修会は、「多問題世帯の支援～保健師が行う家族支援について考える～」をテーマに開催し、家族全体を見て健康・生活問題に対応する「家族支援」の重要性を改めて認識する機会となりました。今年度も保健師活動さらに充実させるために、研修会を準備しているところです。職能だよりでは、支部会員の活動を知っていただく機会となるように、管内病院・保健師養成学校への配布を継続していきます。

保健師の活動がさらに充実するために、会員同士のつながりや情報交換の機会を大切にしていきたいと考えております。

最後になりましたが、今年度も引き続きご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

助産師職能委員長 小林 はるか
(社会福祉法人 恩賜財団済生会新潟県央基幹病院)

助産師職能委員会県央支部の活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。

県央支部は長岡支部と合同で活動しています。近年、ハイリスク妊産婦が増加しており、分娩施設と地域のつながりや連携の大切さを改めて感じます。昨年度より、交流会の場を作り、県央・長岡地域で働く助産師・保健師が集まって直接情報交換できる機会を設けています。それぞれの立場で困っていることを共有したり、地域で子育てする親子へのより良いケアを実施できるような有意義な話し合いができています。

今後も地域で暮らす親子が安心して育児ができるように精進していきたいと思います。引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

教育委員長 小林 王樹
(医療法人社団ただ かもしか病院)

教育委員会は、支部の教育企画の実施、支部通常集会時の特別講演会の企画運営、教育研修会への協力を行っております。

今年度も新型コロナウイルス感染症に考慮して、通常集会の参加者及び看護協会員の申込者のみの参加としました。

講演会は、「高齢者独居率20%時代に必要な終活」と題し、加茂市のえんたけ行政書士事務所の高橋正芳様より御講演いただきました。参加者からは、「相続について詳しく知る機会となった」「終活について深く考えることがなかったので、勉強になりました」などの御意見が聞かれました。

来年度の特別講演会も、会員様のニーズにお応えできるように企画していきたいと考えております。

最後になりましたが、今年度も引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

看護師職能委員長 天春 絵美
(医療法人社団橘光葉会 三条東病院)

看護師職能委員会県央支部の活動にご理解とご協力いただきありがとうございます。

看護師職能委員は病院勤務者Ⅰと施設勤務者Ⅱが協力し活動しています。年1回予定している交流研修会の企画運営が主な活動です。

令和6年度は「今日から始める認知症予防」をテーマに、三条東病院 認知症予防専門士の飯岡恵子様をお迎えして講演を行いました。

病院および在宅・介護福祉施設等で働く看護職が専門性を発揮し、働き続けるために現場で抱えている問題や課題をひも解き、看護職間における連携を図れるような交流研修会を企画していきたいと考えております。

引き続き皆様のご参加ご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

県央支部だより第54号をお届けいたします。

お忙しい中、ご寄稿して頂きました皆様、ありがとうございました。

皆様に紹介したい情報・ご意見などありましたら、ぜひ広報委員までお知らせ下さい。

広報委員 田中 田浦 井上 坂井 本多

◎問い合わせ 広報委員長 本多由紀(田上町役場保健福祉課) TEL:0256-57-6112

ごあいさつ

—いま、岐路に立ち— 県央支部長 佐々木 美奈子
(社会医療法人崇徳会
新潟県立加茂病院 看護部長)



令和6年度看護協会県央支部通常総会において支部長を仰せつかりました。役員と会員の皆様のご協力を得まして、支部運営をすすめてまいります。

当圏域内では、生活習慣関連疾患である内分泌、栄養、及び代謝疾患や循環器系の疾患が他圏域に比べ高いという課題があります。また、これまで様々な背景から当圏域の受療動向では約3割が他医療圏に流れており、一方で看護職員就業者数(令和4年)をみますと人口10万あたり1057.3人と県内圏域一低く、すべての人に健康と福祉が行き渡るとは言い難い状況であったと言えるでしょう。令和6年春、当圏域は医療再編し保健・医療・福祉の流れが変わり、ようやく各関連施設の役割が見え始めてきています。また、時を同じくして新潟県は第8次地域医療保健計画を公表、県央圏域は県央地域医療連絡協議会でその取り組みの議論を始め、私は新潟県看護協会県央支部代表として参加しております。

そこで今、私たち保健師・助産師・看護師が地域社会において果たすべき役割は大きく、新たな地域とつながる岐路に立っております。これからは3職能が手に手を取って、「当圏域で必要な医療が十分に提供され、健康に安心して暮らせる圏域づくり」に向け、情報を共有し課題を詳らかにすることが求められております。言いたいことが言え、この人の言いたいことの奥に何があるかを考えながら聴く姿勢を持ち、「見える化・言える化・聴ける化」に努めてまいりましょう。そして、地域住民のあらゆる年齢の人々の生活の質向上に貢献できる看護協会県央支部活動の展開を夢見ております。どうぞ支部運営へのご協力をよろしくお願いいたします。

事務局からの
お知らせ

報告

令和6年度
新潟県看護協会県央支部通常集会

新潟県看護協会県央支部通常集会は、集会後に新旧役員の引き継ぎを行い、集会終了後に特別講演を開催しました。

日時：令和6年6月22日(土) 午前8時45分から12時
会場：燕三条地場産業振興センター
リサーチコア 7階 マルチメディアホール

出席者：54人

特別講演：高齢者独居率20%時代に必要な終活
～医療職に知って欲しいこと～

講師：えんたけ行政書士事務所 高橋 正芳 氏

*新潟県看護協会県央支部会員数1,108人(令和6年8月現在)
(内訳：保健師74人・助産師27人・看護師960人・准看護師47人)



お知らせ 令和7年度 新潟県看護協会県央支部通常集会

日時：令和7年6月30日(土) 午前8時45分から12時予定 *通常集会終了後に一般の方の参加を含め公開講座を予定しています。詳細は後日お知らせします。
会場：燕三条地場産業振興センター
リサーチコア 7階 マルチメディアホール 県央支部 書記 大橋 厚子



新人看護職員の教育体制 「ともに支え、 ともに成長する」

社会福祉法人
恩賜財団済生会新潟県央基幹病院
早川 恵里美（看護部教育委員会）



県央医療圏の再編により、2024年3月1日済生会新潟県央基幹病院は開院しました。「県央地域の患者さんは、県央で診る」を使命とし、地域密着型病院、診療所、介護・福祉関連施設、行政、さらに隣接医療圏の病院とも連携しながら医療を実践しています。

済生会新潟県央基幹病院看護部では一人一人が自分の将来的な自己実現を見据えたキャリアを積めるように、看護実践のみでなく、マネジメントや自己啓発、組織的な役割行動などのカテゴリーを加えたキャリアラダーを基に教育体制を構築しています。

今年度38名の新人看護職員が入職しました。新人看護職員はキャリアラダーレベルⅠを1年かけて達成できるように月毎の研修や実践目標が組まれています。入職時2週間の集合研修で済生会や病院組織のこと、医療安全、感染管理、基礎看護技術を学び経た後、配属部署で臨床実践を通して学んでいきます。4月から6月は常に指導者と行動を共にして病院・部署の環境に慣れる。7月からは個人に合わせて夜勤導入となり、9月から2月は独り立ちへという流れになっています。看護課長はじめプリセプター、アソシエイト、実践指導者、教育委員など部署スタッフ全員が新人看護職員を見守り、サポート・指導する体制となっています。

教育体制を通して職員全員が互いに認め、支え合いながらともに成長していくことを目指しています。



施設紹介 県央健診スクエア

一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会
会長 佐藤 幸示

「県央健診スクエア」は、一般社団法人新潟県労働衛生医学協会の健康診断・人間ドックの専門施設として、2024年5月三条市上須頃にオープンいたしました。

施設コンセプトは「ゆったりとリラックスしていただく」で、館内はアースカラーや木目を基調とし、間接照明により落ち着きと温かみのある明るい空間となっております。建物は3階建てで、1階では定期健康診断を、2・3階で人間ドックを実施しています。お客様からのご要望が多かった女性専用エリアを設けており、プライバシーにも配慮した設計です。

スタッフは総勢50名ほどで、医師、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、栄養士、事務で構成されています。安心して受診していただけるよう、お客様に寄り添い、笑顔で丁寧な対応を心がけています。また、高精度な検査と、正確かつ迅速な結果報告、きめ細やかなアフターフォローに日々取り組んでいます。

人間ドックでは、健診誘導システムにより、お客様の滞在時間の短縮を図りました。お客様にはお一人ずつ専用タブレットをお持ちいただき、空いている検査ブースへ自動でご案内するシステムです。タブレットでは、オプション検査のご案内や、検査の注意事項が閲覧できるほか、検査データがリアルタイムで確認でき、前回値との比較も可能です。また、雑誌やゲームなどで、待ち時間を快適にお過ごしいただけます。

生まれたての「県央健診スクエア」を皆様の健康づくりにご活用ください。よろしくお願いいたします。

